

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイキッズスマイル		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～ 令和7年 1月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～ 令和 7年 1月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状況に応じたきめ細かい個別支援及び集団での支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害(知的・情緒など)別、発達状況に個別支援(水泳療育・絵画療育)ができてる。</li> <li>・集団活動では、異年齢の子どもとの水泳や運動遊び、ゲーム、創作活動・課外活動などを通してルールやコミュニケーションスキルの習得に積極的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども同士の関りのなかで、子ども自身の自主性・主体性が導き出せるよう側面からの支援をおこなっていく。</li> </ul>
2	手厚い支援体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者を中心に、子ども一人ひとりの支援に取り組んでいる。また、職員全員で振り返りを行い、改善につなげている。</li> </ul>	
3	保護者支援及び関係機関連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者を中心に、子ども一人ひとりの支援に取り組んでいる。また、職員全員で振り返りを行い、改善につなげている。</li> <li>・保護者からの相談(家庭や学校等での困り感)に応じ、問題解決や改善策に積極的に取り組んでいる。例えば、学校での学習のつまずきやお友達とのトラブルについては、子どもの困り感が軽減されるよう事業所と連携を図り対応できている。また、家庭において基本的な生活習慣が不安定となった場合など、保護者や関係機関等と緊密に連携を図り、その改善策に取り組むことができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、保護者のニーズに応じていけるよう、関係機関との連携を緊密に図っていく。また、保護者の不安や悩みに迅速に対応し、安心していただけるよう努める。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業療法士・言語聴覚士・心理的支援など専門職による直接支援が望まれるが、現段階では確保できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な人材が確保できるまでの間、現有の直接支援者が研修を重ね専門性につなげる支援に取り組んでいく。</li> </ul>
2	子どもに対する家族の対応力向上のための「ペアレントトレーニング」等や家族が参加できる研修の場の提供及び情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの個別相談に対するアドバイスや助言はできているが、多くの保護者を対象とした研修や情報提供の取り組みはできていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は年間計画に研修等を組み込むなど、子どもに対する家族の対応力向上につなげていく。</li> </ul>
3			